

知って得する国民年金

国民年金保険料の納付期限は、翌月の末日です。忘れず納めましょう。

～新成人の皆さんへ～ 20歳になったら国民年金

国民年金は、老後やいざというときの生活を、現役世代みんなで支えようという考えで作られた仕組みです。

具体的には、20歳から公的年金に加入し、保険料を納め続けることで、老後や、あるいは病気やケガで障害が残ったとき、また、家族の働き手が亡くなったときに、年金を受け取ることができる制度です。

国民年金のポイント

- ◎将来の大きな支えになります。
- ◎老後のためだけのものではありません。

※20歳になる前に、日本年金機構より申請書類などの郵便物が届きます。

■問い合わせ／南国年金事務所 ☎864-1111

<自動音声案内に従って②→②と押すと、国民年金課に繋がります。>
<自動音声案内に従って①→②と押すと、お客様相談室に繋がります>

平成29年分公的年金などの源泉徴収票を送付

国民年金・厚生年金保険の「老齢年金」など、老齢(退職)を支給事由とする公的年金は、税法上「雑所得」として所得税の課税対象となります。

日本年金機構は、受給者の方へ、その年、一年間の年金の支払総額などが記載された「公的年金などの源泉徴収票」を作成し、翌年1月中旬に送付しています。

年金のみの所得で源泉徴収される方は、原則として所得税の確定申告をする必要はないことになっていますが、他に収入(給与や年金)がある場合や、源泉徴収税額の還付を受ける場合には確定申告を行ってください。確定申告の詳細については、お近くの税務署など、税務相談窓口にお尋ねください。「源泉徴収票」は、確定申告の添付書類の一つとして必要になります。なお、「障害年金」や「遺族年金」については非課税ですので、「源泉徴収票」は送付されません。

■問い合わせ／南国年金事務所 ☎864-1111

<自動音声案内に従って②→②と押すと、国民年金課に繋がります。>
<自動音声案内に従って①→②と押すと、お客様相談室に繋がります>

親子クイズ 548

Q 説明文から言葉を当ててください。5種類の言葉がわかったら、□に入る文字をとって、キーワードを完成させてください。言葉はすべてひらがなで記入します。

- 1.○○はあけぼの、夏は夜 答え:□○
 - 2.一年で最初の祝日 答え:○○○□
 - 3.わたしたち、学名:ホモ・サピエンス 答え:□○
 - 4.歌の上手な人、○○○○○大会 答え:□○○○○
 - 5.かたつむりの別称、○○○○むし 答え:□○□○むし
- キーワード:□ □ □ □ □

■応募締切／1月11日(木)必着
■あて先／〒783-8501 南国市大塚甲2301 南国市企画課「親子クイズ係」
*はがきで応募
■賞品／正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

★応募総数／64通 ★正解率／97%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

【第547回解答】

ジングルベル

【第547回当選者】

- 片山 澄子 (日吉町)
- 西森 美保 (日吉町)
- 曳地 樹 (駅前町)
- 市川 辰哉 (大塚甲)
- 永野 緒里恵 (高知市)

こあんしき 居安思危

なんこく防災くんの防災情報 86

やす あり あや おも
-安ぎに居て危うきを思う-



緊急地震速報を見聞きした際の対応行動⑫

12. 商店街・飲食店街にいる時

基本的行動

家屋(屋根瓦)の軒下、壁、ブロック塀、エアコン室外機、プロパンガスボンベ、看板、自動販売機、電柱等のそばから離れ、少しでも広い場所へ退避する。

- ビル付近にいる場合は、直ちに離れるか、またはビルの中へ退避する。
- アーケード街にいる場合は、直ちに離れて広い場所で身を低くする。退避できない場合は、落下物等に注意してカバン等で頭を守る。
- 飲食店や居酒屋にいる場合は、瓶類等から離れ、テーブルやカウンターの下に隠れて頭を守る。
- 古い建物の1階にいる場合は、建物から離れて退避する。

緊急地震速報を入手する手段

テレビ、ラジオ、携帯電話・スマートフォン、防災行政無線 など

強い揺れから身を守るための事前の備え

日常生活で行動する周辺の状況を把握し、落下や倒壊しそうな危険箇所をイメージしておく。

■問い合わせ 危機管理課 ☎880-6575

10年程前のことだった。感性豊かで人望も厚い、一回り下の同僚がいた。
ある日彼女から、「くまとやまねこ」という絵本を「読んでみて」と渡された。表紙をめくると、題字下には、セピア色の濃淡の輪の中に、仰向けに横たわる小鳥が描かれていた。次ページは、ある朝、くまは寝ていなかった。なかよしのことりががしんでしまったのです。
毎日、「今日の朝」が続くと信じていたのに、その幸せを失った熊の心情を、セピア色の濃淡がしつとりと描き進める。大切な友達の小鳥を、心を込めて作った箱に入れて持ち歩く熊に、森の友達が言う。「ことりはもうかえってこないんだ。つらいだろうけどわすれなくちゃ」……悪気はなく、励ましのつもりでかけたりかけられたりする言葉だ。私にとっては、辛さが増してしまっただけのことである言葉だ。暗く閉め切った部屋にとじこもる熊の姿は、背中からそっと包んであげたくなるほど痛々しい。
ある日のこと、久しぶりに外に出た熊は、光・風・匂い・色が生き生きしていることに気づく。そこで出会った山猫。彼は、「きみ

絵本との出会い

はことりとほんとうになかよかったですね。ことりがしんでいないぶんさびしいおもいをしているんだらうね」と共感してくれた。山猫は熊と小鳥のためにパイオリンを弾いてくれる。目をつぶり小鳥のこのことを思う絵に少しづつ桃色が添えられてくる。山猫が差し出した古いタンパリンを見た熊は、山猫にもずっと一緒だった友達がいただらうと思うけれど、それを聞かないで一緒に旅することにする。
私は、鼻水をすすりながら、心地よい涙を流した。この絵本は、自分の手元にも欲しいと思いい、本屋で求めた。娘も小学校高学年になつていたが、やはり泣いた。
人は、寄り添い共感してもらい癒され、そして、前に進もうと思えるのかもしれない。単色基調の絵本なのに豊かな色まで浮かんでくる、いい絵本に出会わせてくれた同僚に感謝した。
*絵本「くまとやまねこ」
湯本香樹実・文
酒井駒子・絵
出版社・河出書房新社
■問い合わせ
人権啓発広報委員会
☎880-6569

81 人権学習シリーズ

市民からのお便り (親子クイズ)今年最後の応募。来年も楽しみにしています。

市民からのお便り (親子クイズ)主人とあーでもないこーでもないと、クイズに挑戦しました。ありがとうございます。